

おにぎり、カップラーメン…お一人お一人細やかに！

どれだけ過ごしやすい場所に行けるか



祖父と父が福祉の仕事、福祉に興味

祖父と父が福祉の仕事をしていて福祉の世界には興味があり、介護福祉科がある短期大学へ進みました。就職活動中に、短期大学の同期からユニット型の特別養護老人ホームが新しく出来ることを教えてもらったのがきっかけでした。家から通える範囲ですし、ユニットケアというものに魅力を感じる事が多かったのが志望動機です。

食事・排泄・入浴への一人一人に応じた細やかな工夫

仕事内容は主には食事・排泄・入浴の三大介助になります。ユニットタイプということで、より密接な介助をできるのが魅力だと感じています。普段の食事でも、おにぎりにして提供したり、カップラーメンを召し上がる方もいらっしゃいます。利用者様一人ひとりに応じて、細やかに工夫出来ることが多いと思います。

楽しみをもって、どれだけ過ごしやすい場所に行けるかを心がけています。

ありがとう、親しいふれあいの瞬間、そして笑顔…で「がんばろう！！」

意思疎通が難しい利用者様から「ありがとう」と言葉をいただくことがあり、そんな時は嬉しい気持ちになります。業務が重なっていく中でも、世間話をしたり利用者様に親しく接してもらえる瞬間が嬉しいことです。利用者様が笑顔になっているのを見ると、「がんばろう」という気持ちになれます。

悩みは抱えこまず、同僚・先輩・上司・入職される皆さんと

介護の仕事は、大変なことが多かったです悩み事が多いと思います。どうしても行き詰って悩むこともあると思うんですが、1人で抱え込まないで、周りには相談できる同期や先輩や上司がたくさんいることを忘れないでください。

入職される皆さんと一緒に、これからの介護を頑張っていければと思っています。



佐藤 麻耶 2011年4月入職
新秋会 特別養護老人ホームひなた
「港湾通り」介護職員（介護福祉士）